２０１９年度　学士入学試験　転部・転科試験　科目等履修生選考　問題２０１９

早稲田大学政治経済学部

経済学（経済学科）

問題２．以下の問1～5のすべてに答えなさい。

1 経済学で扱う数量は、フローとストックに分けられる。これらの違いを説明し、それぞれ1つづつ具体例を挙げなさい。

2 最終生産物として米と鉄だけが生産される場合を考え、2017年と2018年のそれぞれの価格と生産量が以下の表で与えられている。

		2017年	2018年
米	価格	10	5
	生産量	20	50
鉄	価格	100	120
	生産量	5	10

(1) 2017年と2018年の名目GDPを求めなさい。
(2) 2017年を基準年として2018年の実質GDPを求めなさい。
(3) 2018年のGDPデフレーターを求めなさい。また、1年間で物価は何%変化したか答えなさい。(少数第3位を四捨五入せよ)

3 家計と企業だけが活動し、1財だけが取引される場合を考える。消費は国民所得の増加関数、投資は国民所得から独立の正(プラス)の値を取る場合、45度線分析で均衡国民所得を示す図を描き、なぜそれが均衡国民所得であるかを説明しなさい。（それぞれの軸に、何を取っているかを明示すること。）

4 GDPは資本と労働の投入だけで生産される場合を考える。資本の成長率は2%、労働の成長率は－0.1%、資本分配率は40%、技術進歩率は1%の場合、成長会計の手法を用いてGDP成長率を求めなさい。

5 ある国民経済の性質を調べるために、短期・中期・長期のように期間を区別し、別々のモデルを用いる方法がある。これらのモデルがどのように異なり、どのようなことを分析するのかを説明しなさい。

受験番号	氏名

採点欄

２０１９年度　学士入学試験　転部・転科試験　科目等履修生選考　解答用紙
経済学（経済学科）　問題１

【裏へ続く】